

## ★第59回亀山東小学校卒業証書授与式 式辞（R4.3.18）

鮮やかに映える山の端に確かな春の訪れが感じられる今日の良き日に亀山東小学校第59回卒業式が挙げていきますこと職員一同、何よりの喜びに存じます。

70名の卒業生の皆さん「卒業 おめでとう！」お祝いと同時に、皆さんの6年間の努力を労いたと思います。特にこの2年間長引くコロナ禍の中、語り尽くせない辛さや不安があったことでしょう。学校での授業、行事、お昼ご飯の給食でさえも、それまでと同じようにはいきませんでした。友だちとのおしゃべりも、追いかけてこも、そうでした。そんな中、よくぞ、今日の日を皆で迎えてくれたと嬉しく思います。

仲間と苦労を共にした経験を、周りの支えに対する感謝の気持ちを、どうか皆さんの今後の糧としてください。仲間と過ごすことの大切さ、勉強することの楽しさ、平和な毎日、命の尊さを誰よりも強く感じたあなたたちは、どうか忘れずにいてほしいと思います。

今、世界では、大きな過ちが起こっています。どんな理由があれ、戦争はNOなのです。疑いや嘘・うわさに、人としての心を奪われ正義を失ってはなりません。誰かを犠牲にする正義はありません。人の痛みを想像できない、時を待てない、受け入れない、それらが、多くの人を不幸にします。

「自分も相手も」「共の幸せを願う」そんな絶対を忘れてはいけません。あなたたちは、これからも、優しさとは何か、真実とは何か、相手が望むことは何か、自分がすべきことは何か、・・・常に、自らに問いかけ真理を考える人であってください。そして、人と人の正しい付き合い方を覚えていくのです。どうかお願いします。

卒業する皆さんに、次代の担い手となる皆さんに、小学校最後の授業として、ウォルトディズニーの言葉を紹介し贈ります。（中略）彼は10歳の頃から絵を学びます。しかし、彼が高校生の時、第一次世界大戦が始まり、絵の勉強を続けることはできなくなりました。彼は生活のため、やむなく漫画を描くことをはじめます。19歳の時、アニメ制作の会社を作りますが、資金がなく倒産します。そんな逆境の中でも、  
・世界の人々を楽しませたい  
・笑顔のあふれる世界にしたい  
・自分にはきっとそれができる！  
ウォルトの思いと夢が変

わることはありませんでした。そこで、彼がこれまで書き溜めた一つのキャラクターが認められ、大ヒット映画が完成するのです。成功の理由を問われたウォルトは、こんな言葉を残します。

All our dreams can come true, if we have the courage to pursue them. I only hope that we don't lose sight of one thing - that it was all started by a mouse. --

日本語にします。「夢をもち求め続ければ、すべての夢は必ず実現できる。忘れないでほしい。私の成功の全ては、ただの一匹のねずみから始まったんだ！」ウォルトは、決してはじめからうまくいったわけではありません。多くの苦労や挫折をくりかえしながらも、くじけず、あきらめずに夢を追い続け成功を手に入れました。

ウォルトの成功は、作った会社や社長としての地位、手にしたお金のことではなく、「世界中の大人も子ども、すべての人を楽しませたい」との夢が実現したことを指しています。

卒業生の皆さん、縁あって亀山東小学校で絆を結んだあなたたち、技術の進化、環境の変化、食料不足・先が見えづらい世の中が、この先待っています。幾多の苦労もあるでしょうが、常に他を思い自己に問い、ウォルトのように・自分の夢を力強く手繰り寄せていってください。

最後となりましたが、保護者・ご家族の皆様に申し上げます。本日、お子様が晴れて小学校卒業の日を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。皆様には、6年間の永きに渡り温かく本校の教育活動をいつもお支えいただきました。私事を交え恐縮ですが、教員生活最後の2年間、この亀山東小学校で皆さまとのご縁をいただきましたこととあわせて深く感謝し御礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さん、

ひがし小の「ひ」は、“人（ひと）をたいせつにする「ひ」

ひがし小の「が」は、“がんばりあうことができる「が」

ひがし小の「し」は、“幸せ（しあわせ）を願う「し」です。

本日、この会場に集まっていたいただいた全ての皆さんと共に皆さんの今後の活躍と幸多き前途を願い、卒業式、式辞とします。

令和4年3月18日 亀山東小学校教職員代表 伊達 弘